

参考文献

高橋寿郎 (1986) ナガフトヒゲナガゾウムシを美濃郡吉川町にて採集,

IRATSUME 10:46-47.

森本 桂 (1984) 原色日本甲虫図鑑 (IV). 保育社.

ギフチョウの卵をツバキの葉から採集

木下賢司

1987年4月18日, 豊岡市三坂町 (大門山) にて, ツバキの葉に産み付けられたギフチョウ *Luehdorfia japonica* の卵2個を採集した.

ギフチョウの卵が食草の表面に産み付けられていた例は時々聞くが, 食草以外に産卵されていたという例は珍しいと思うので, 報告する.

この卵を採集したのは, JR 豊岡駅の南約1 km, 妙楽寺の山が山陰本線によって切られた通称, 大門山と呼ばれる30mほどの小さな山の西斜面で, ツバキの若木 (約1 mの丈) の地上より15cmの高さの枝に生えた葉の表面に産卵されていたものである.

付近にはカンアオイがかなりあり, 問題の卵の産み付けられていたツバキから50cmの距離にも7卵産付されたカンアオイがあった. また, そのツバキの葉から一番近いカンアオイの葉までの距離は40cmもあり, 何故このようなことが起こったのか理解に苦しむ.

因に, このツバキの葉から得た2卵から2個の蛹を得ている.

今春, この慌て者のギフチョウのお母さんから, どんなおしとやかな春の舞姫が飛び出すのか, 大いに楽しみにしている.